

- 問1 松平定信が進めた寛政の改革において、幕府の権威を回復し、武士の思想を統一するために、昌平坂学問所（聖堂学問所）で朱子学以外の講義や研究を禁止した政策を何といいますか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 株仲間の解散 2. 享保の改革 3. 寛政異学の禁 4. 棄捐令
- 問2 江戸時代、鳥取城などの各地の城が台風や地震で破損し、その修理を行おうとする際、大名は必ず幕府へ届け出て許可を得る必要がありました。このように、城の勝手な修築や許可のない婚姻を禁じることで、江戸幕府が諸大名を厳しく統制するために制定した法律を何といいますか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. 武家諸法度 2. 慶安の御触書 3. 公事方御定書 4. 生類憐みの令
- 問3 江戸幕府がとった対外政策、いわゆる「鎖国」のもとでは、四つの窓口を通じて特定の国や地域との交流が行われていました。このうち、長崎の窓口において中国（清）やオランダと取引が行われていたのに対し、朝鮮との外交や貿易を専門に担当していた藩はどこですか。（2021年 秋田県公立入試 類似）
1. 薩摩藩 2. 松前藩 3. 対馬藩 4. 長州藩
- 問4 日本地図上で現在の兵庫県にあたる地域に位置しており、江戸時代には佐渡金山などとともに幕府の直轄領（天領）として重要な財源となった、銀を産出した鉱山はどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）
1. 生野銀山 2. 足尾銅山 3. 院内銀山 4. 別子銅山
- 問5 寛政の改革において、松平定信が飢饉や凶作に備えて米を蓄えさせる政策を実施した主な理由として、最も適切なものを選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）
1. 直前に起きた大飢饉の教訓から、非常時における食糧不足や社会の混乱を防ぐため。 2. 参勤交代の負担を減らす代償として、各大名から幕府へ米を強制的に納めさせるため。 3. 株仲間を解散させたことによって途絶えた都市への米の流通網を再構築するため。 4. 長崎貿易を拡大するために、海外へ輸出するための余剰米を確保する必要があったため。
- 問6 江戸時代、歌川広重の浮世絵や十返舎一九の『東海道中膝栗毛』といった、江戸を中心に発展した文化が地方へも広く普及しました。このような文化の広まりを支えた当時の社会状況の説明として、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 鎖国体制が強化されたことで外国の文化が遮断され、代わりに地方独自の文化が江戸へ集中的に流入した。 2. 参勤交代の負担を減らすために幕府が交通路の通行料を無料にし、庶民が自由に江戸へ住めるようにした。 3. 五街道などの交通網が整備されたことで人々の往来が盛んになり、旅人や物資とともに江戸の文化が伝わった。 4. 幕府が江戸の文化を全国に普及させるために、各地の藩校に対して浮世絵や文学作品を教材として配布した。
- 問7 19世紀中頃、江戸幕府の老中が、幕府の権力を強めるために行った「天保の改革」について、その中心となった人物と、改革で実施された内容の組み合わせとして正しいものはどれか。（2023年 新潟県公立入試 類似）
1. 水野忠邦 — 物価の上昇を抑えるために株仲間を解散させ、江戸や大坂周辺の土地を幕府直轄地にしようとする上知令を出した。 2. 徳川吉宗 — 裁判の基準となる公事方御定書を定め、目安箱を設置して民衆の意見を政治に反映させようとした。 3. 松平定信 — 飢饉に備えて困米を奨励し、旗本や御家人の借金を帳消しにする棄捐令を出して武士の生活を救おうとした。 4. 田沼意次 — 株仲間の結成を積極的に奨励し、そこから得られる運上金や買加金によって幕府の財政を潤そうとした。
- 問8 17世紀半ば、江戸幕府はキリスト教の布教を防ぎ、貿易を幕府の直接支配下に置くために、それまで平戸にあった特定の国の拠点を長崎の人工島に移転させました。この島と、そこに移された施設の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 滋賀県公立入試 類似）
1. 平戸とイギリス商館 2. 堺とオランダ商館 3. 出島とポルトガル商館 4. 出島とオランダ商館
- 問9 江戸時代前期の元禄文化において、東北や北陸などを巡った旅の経験をもとに『おくのほそ道』などの紀行文を執筆し、俳諧を高い芸術性を持つ文学として大成させた人物は誰か。（2024年 長崎県公立入試 類似）
1. 近松門左衛門 2. 松尾芭蕉 3. 井原西鶴 4. 与謝蕪村
- 問10 江戸時代に狂歌「白河の清きに魚のすみかねてもとのにごりの田沼恋しき」で風刺された政治を行った人物の政策として、正しいものを選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）
1. 幕府の財政を潤す目的で、長崎における貿易量を拡大させて金銀の流出を防いだ。 2. 大名に米を納めさせる代わりに、参勤交代による江戸滞在期間を半減させた。 3. 飢饉や凶作などの非常時に備えて、大名や町人に米を蓄えさせる「囲い米」を命じた。 4. 物価の上昇を抑えることを目指し、商人たちの組織である株仲間を強制的に解散させた。
- 問11 江戸時代の大坂の様子を記した資料には、川沿いに大きな倉庫のような建物が並び、多くの船が荷物を積み降ろしする活気ある風景が描かれています。このように、各藩が大坂に「蔵屋敷」を設置した目的として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 秋田県公立入試 類似）
1. 参勤交代で移動する大名や武士が、大坂に滞在する際の宿泊場所を確保するため 2. 幕府から許可を得た商人の組織を作り、商品の流通を独占して税を納めさせるため 3. 長崎の出島を通じて輸入された外国の品物を、西日本の各地へ配送する拠点にするため 4. 領地で集めた年貢米や特産物を市場で売り出し、藩の運営に必要な貨幣を得るため
- 問12 江戸時代初期、徳川家康が海外渡航を許可する公的な証書を商人に与えて行かせた貿易を何というか。（2017年 和歌山県公立入試 類似）
1. 日宋貿易 2. 南蛮貿易 3. 勘合貿易 4. 朱印船貿易
- 問13 1841年に江戸幕府の老中として天保の改革を推し進めた人物と、同時期に清（中国）で起こり、幕府が異国船打払令を緩和するきっかけとなった出来事の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2024年 長崎県公立入試 類似）
1. 松平定信とアヘン戦争 2. 水野忠邦とマゼランの船団による世界一周 3. 松平定信とマゼランの船団による世界一周 4. 水野忠邦とアヘン戦争
- 問14 かつての城下町の景観について述べた次の文のうち、道路の構造とその背景について正しく説明しているものはどれですか。（2018年 岐阜県公立入試 類似）
1. 馬車や車などの大型の交通手段を普及させるため、道幅を広くして見通しの良い直線道路を多用した。 2. 敵の侵入を防ぐため、わざと道路を曲げたり突き当たりを設けたりして、見通しを悪くした。 3. 大名が住民の生活を監視しやすくするため、どの場所からも城郭が直視できるように街路にした。 4. 商業の発展を最優先し、物資の輸送が円滑になるよう全国一律で直線的な格子状の道路を整備した。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 寛政異学の禁	松平定信は、幕府の政治理念として正統とされた朱子学を重視し、それ以外の新しい学問（陽明学や古学など）を制限することで、武士の規律を正そうとしました。これを「寛政異学の禁」と呼び、官吏登用試験も朱子学に基づいて行われるようになりました。
問2	答え 1 武家諸法度	徳川家康の時代に制定されたこの法律は、大名が勝手に軍勢力を強化したり、有力な大名同士が結託して幕府に反抗したりすることを防ぐ目的がありました。城の修築制限は軍事拠点の強化を阻むため、婚姻の許可制は大名間の同盟を監視するための仕組みです。のちに徳川家光の代には、参勤交代の制度などもこの法の中に明文化されました。
問3	答え 3 対馬藩	江戸幕府は、完全に国を閉ざしていたわけではなく、特定の窓口を通じて外交・貿易を統制していました。対馬（現在の長崎県）を拠点とする対馬藩の宗氏は、中世以来の歴史的経緯から、幕府に代わって朝鮮との国交の窓口を担いました。これにより、朝鮮からは朝鮮通信使が来日し、日本の銀と朝鮮の生糸などが取引されました。
問4	答え 1 生野銀山	兵庫県に位置する生野銀山は、戦国時代から開発が進み、江戸時代には幕府が直接支配する天領となりました。ここで産出された銀は、幕府が発行する貨幣の原料として使われ、国の経済を支える極めて重要な役割を果たしました。愛媛県の別子銅山や栃木県の足尾銅山など、他の主要な鉱山と場所や産出物を区別して覚えることが重要です。
問5	答え 1 直前に起きた大飢饉の教訓から、非常時における食糧不足や社会の混乱を防ぐため。	松平定信が寛政の改革を行う直前には天明の大飢饉が発生し、全国で深刻な食糧不足や農村の荒廃、社会の不安が生じました。定信はその教訓を踏まえ、再び飢饉や凶作が起きてても混乱が生じないように、大名や町人に米を蓄えさせる「囲い米」などの備えを義務付けました。
問6	答え 3 五街道などの交通網が整備されたことで人々の往来が盛んになり、旅人や物資とともに江戸の文化が伝わった。	江戸時代には、幕府によって五街道などの主要な交通路が整備されました。当初は参勤交代や公用のための整備でしたが、平和な世が続くにつれて庶民による社寺参詣や物見遊山の旅が盛んになりました。この人々の往来が活発化したことが媒介となり、江戸で流行した浮世絵や滑稽本といった文化が、宿場町などを通じて地方へと広まっていく要因となりました。
問7	答え 1 水野忠邦 ― 物価の上昇を抑えるために株仲間を解散させ、江戸や大坂周辺の土地を幕府直轄地にしようとする上知令を出した。	江戸時代後期の1841年から始まった天保の改革では、老中の水野忠邦が幕府権力の強化を図りました。彼は物価高騰の原因が商人の独占にあると考え、株仲間を解散させましたが、流通が混乱して逆効果となりました。また、幕府の財政基盤を固めるために江戸や大坂周辺の領地を没収しようとした「上知令（あげちれい）」は、大名や旗本からの激しい反発を買い、改革が失敗に終わる大きな要因となりました。
問8	答え 4 出島とオランダ商館	江戸幕府は、キリスト教の禁止を徹底するとともに、貿易の利益を独占するため、1641年にオランダ商館を平戸から長崎の出島に移しました。これにより、ヨーロッパで唯一貿易が許されたオランダとの窓口を長崎に限定する体制が整いました。
問9	答え 2 松尾芭蕉	江戸時代前期の元禄文化を代表する俳人です。弟子の河合曾良を伴って東北や北陸を旅し、その経験を紀行文である『おくのほそ道』にまとめました。それまでは滑稽さや娯楽性を中心だった俳諧に、高い芸術性を加えたことで知られています。選択肢の井原西鶴は浮世草子、近松門左衛門は人形浄瑠璃の脚本で活躍した人物です。
問10	答え 3 飢饉や凶作などの非常時に備えて、大名や町人に米を蓄えさせる「囲い米」を命じた。	狂歌中の「白河」は白河藩主であった松平定信を指しています。田沼意次の後に老中となった松平定信は寛政の改革を行い、農業生産を奨励するとともに、飢饉や凶作に備えて米を蓄えさせる「囲い米」などの政策を実施しました。なお、参勤交代の緩和は享保の改革、株仲間の解散は天保の改革、長崎貿易の拡大は田沼意次の政治に関する説明です。
問11	答え 4 領地で集めた年貢米や特産物を市場で売り出し、藩の運営に必要な貨幣を得るため	江戸時代の大名は、参勤交代の費用や江戸での生活費などを賄うために、大量の現金を必要としていました。そのため、自領で集めた年貢米や特産物を「天下の台所」である大阪の蔵屋敷に運び込み、蔵元や掛屋と呼ばれる商人を介して売却し、現金に換える仕組みを整えていました。他の選択肢にある「商人組織」は株仲間、「宿泊施設」は本陣や脇本陣などの説明であり、蔵屋敷の主な目的とは異なります。
問12	答え 4 朱印船貿易	徳川家康は江戸幕府を開いた後、海外との経済交流を活発にするため、特定の商船に「朱印状」という渡航許可証を与えました。これにより、海賊船と区別された安全な貿易が推進され、主に東南アジア諸国との間で盛んに行われました。
問13	答え 4 水野忠邦とアヘン戦争	江戸時代後期の1841年から天保の改革を行った老中は水野忠邦です。この時期、隣国の清がアヘン戦争でイギリスに大敗したという情報が幕府に伝わり、強い危機感を抱いた幕府は、それまでの強硬な「異国船打払令」を改め、外国船に燃料や食料を与える「薪水給与令」を出して、欧米列強との武力衝突を避けようとした。松平定信は18世紀後半の寛政の改革を主導した人物です。
問14	答え 2 敵の侵入を防ぐため、わざと道路を曲げたり突き当たりを設けたりして、見通しを悪くした。	城下町特有の入り組んだ構造は、防御を目的としたものです。直線的な道路（格子状）は、奈良時代の平城京などの「条坊制」には見られますが、中世から近世にかけての城下町では、防衛上の理由からあえて直進できないような街路設計（クランクや丁字路）が採用されました。これは「見通しをきかなくする」という考えに基づいています。